

平成19年度京田辺市一般会計当初予算の概要

一般会計当初予算の特徴

総額

- 平成19年度一般会計当初予算は、市長選を控え「骨格予算」を編成したことから、総額は191億6000万円となり、対前年度比 3.5% (6億9000万円減) のマイナス予算となった。

特徴

- 厳しい財政状況のもと、実施計画に掲げる継続事業や緊急性の高い事業を計上し、新規・拡充事業は、原則として6月補正以降に対応することにした。ただし、既に年次的な耐震改修計画を公表している小中学校施設の耐震補強・大規模改修事業については当初に計上した。

主な「歳入」

- 市税は、国からの税源移譲等により、約7億3400万円 (+8.6%) の増
- 地方譲与税は、所得譲与税の廃止等により、3億6600万円 (-64.3%) の減
- 地方交付税は、税収増と総額抑制等により、2億円 (-9.1%) の減
- 国庫支出金は、まちづくり交付金の減等により、約3億8300万円 (-16.6%) の減
- 市債は、減税補てん債の廃止等により、約1億4000万円 (-7.2%) の減

主な「目的別歳出」

- 民生費は、児童手当の拡充や河原保育所建設事業の増等により、約2億5500万円 (+4.6%) の増
- 土木費は、河川改修事業や三山木区画整理事業の減等により、約9億7500万円 (-23.8%) の減
- 教育費は、小中学校の耐震・大規模改修事業の実施等により、約2億1800万円 (+9.0%) の増

主な「性質別歳出」

- 人件費は、職員数の抑制等により、約9200万円 (-1.7%) の減
- 扶助費は、児童手当の拡充等により、約1億1300万円 (+3.8%) の増
- 公債費は、長期債元金の減等により、約1億400万円 (-4.0%) の減
- 普通建設事業は、補助事業の減等により、約6億2200万円 (-20.5%) の減

主な事業

1 だれもが安全・安心に暮らせるまちづくり

(心がかよいふれあうまち・健やかで安心して暮らせるまち・安全で人にやさしいまち)

・地学連携推進事業	2,128千円	[市民参画]
・女性交流支援ルーム運営費	8,140千円	[男女共同参画]
・河原保育所建設事業(継続費設定分)	78,700千円	[児童福祉]
・留守家庭児童会施設費(三山木、桃園)	6,225千円	[児童福祉]
・児童手当(乳幼児加算の創設)	491,490千円	[児童福祉]

2 快適で活力にみちたまちづくり

(調和のとれた便利なまち・快適で住みよいまち・活力とにぎわいのあるまち)

・環境基本計画推進補助金	500千円	[循環型社会]
・リサイクルプラザ運営費	3,300千円	[循環型社会]
・起業家育成入居施設費補助金	10,000千円	[新産業創出]
・山手幹線等府施行事業負担金	50,150千円	[道路網]
・三山木地区特定土地地区画整理事業	1,384,000千円	[市街地整備]

3 心にうるおいのあふれるまちづくり

(自然と共生する美しいまち・心豊かな人を育てるまち)

・田辺小学校便所増改築事業	61,800千円	[学校教育]
・適応指導教室(ホットラック)充実経費	5,386千円	[学校教育]
・防賀川公園整備事業	79,000千円	[公園緑地]
・多目的運動広場整備事業	48,000千円	[スポーツ]

学校施設の耐震改修等

(工事費等)

・田辺東小学校耐震補強及び大規模改修事業(北校舎)	119,900千円
・大住中学校耐震補強事業(管理棟、南校舎(西側便所棟)、体育館)	232,900千円

(設計費)

・田辺東小学校(管理棟)草内小学校(給食棟、体育館)、薪小学校(管理棟、体育館)、三山木小学校(体育館)	25,500千円
・田辺中学校(管理棟増築等)	50,000千円